逆Mapping

☆ねらい

　自分が書きたいこと（伝えたいこと）を思考の中で整理をしていくMappingの手法を、逆の手順を用いることにより、手法に慣れ、理解を深めることができる。

☆扱う場面

　・全学年対象。

・単元の最後での自己表現活動で。または、テーマを決めて英文を作成する場合。

　・論説文やスピーチ原稿等の英文の内容理解・読み取り。

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| 1. 教師の音読を2回聞く。 | ・１回目は、登場人物や全体的な内容を聞き取らせる。  ・２回目は、テーマ（opening）、段落構成(body)、結論(ending)等を意識するようアドバイスする。 |
| 1. 音読をする。 | ・ヒントとなる言葉（First, Second, In conclusionなど）に注意しながら読ませる。 |
| ③ ワークシートを見て、大まか  な内容を知る。 | ・構成を、Mappingで実際に見て確認させる。  ・矢印や図を意識させる。 |
| ④ ワークシートの空所に埋めて  いく。 | ・生徒の実態や目的に合わせる。  　○学習形態を、個人／グループで行う。  　○空所補充を、日本語／英語で行う。 |
| ⑤ ワークシートの空所の内容を  確認する。 | ・to不定詞の用法に注意させる。 |
| ⑥ 逆マッピングにより、スピー  チをする。 | ・内容を理解した上で、ワークシートを見ながら、教科書の本文やスピーチ原稿を英語で読ませる。 |
| ⑦ Mappingの作成について学習  する。 | ・自分がMappingを作成する上で、取り入れたい部分にアンダーラインを引かせる。  ・線や矢印をうまく使えるよう、他の例も示す。  ・単語レベルでもいいので、書きたいことをできるだけ多く挙げられるようアドバイスする。 |
| ⑧ 次時の準備をする。 | ・次回、自分がMappingを用いて英作文をする際のテーマを決めさせる。 |